



東京地区生コンクリート協同組合
〒103-0027東京都中央区日本橋3丁目2番5号
電話番号 (03) 3271-2181
URL:https://www.t-namakyo.jp/
発行責任者 高村 尚

＝協組の動き＝

(8月)
10日(土)～18日(日) 夏季休業
26日(月) 理事会(No. 1222)

(9月)
9日(月) 理事会(No. 1223)
24日(火) 理事会(No. 1224)



涼しそうめん、涼しげですね!

お子様の作文募集中!

本年も9月号に組合員従業員のお子さん・お孫さんの「夏休みの思い出」作文を掲載予定です。

皆様、奮ってご応募下さい。
※締め切りは8月26日(月)
応募者には薄謝を進呈します。
詳細は、各社総務担当者または組合管理本部へ!

2024年度 第1四半期出荷実績と今後の展望

---出荷状況---

当協組の2024年度第1四半期出荷実績は、前年比106.9% 年初計画比90.1%の676千 m^3 でした。一昨年度下期より急速に出荷数量が減少し昨年度上期まで低迷していたため、前年度実績数量こそ上回りましたが、年初計画数量に対しては大幅に下回りました。これは、雨天中止が例年以上に多かったこと、建設作業員不足により都心部での再開発工事や新規工事で遅れが生じ始めたこと、さらには、特殊コンクリート用の材料不足、出荷制限で生コンクリート出荷が滞っていることなどによるものと推察されます。盆明けまではこの状況が続くとみられます。また、6月末の契約残数量は、3,296千 m^3 でした。現状から今後の展開は、上期は1,350千 m^3 程度と想定しています。下期については、品川開発プロジェクトや日本橋・八重洲地区再開発工事向け出荷が最盛期を迎える予定で、年初計画数量で推移するものと思われま。しかしながら、建設作業員不足に加え、建設資材などの高騰による設計変更や建設計画自体の見直し等により都心部での再開発工事の遅れが懸念されています。さらに、物流分野等の2024年問題など出荷数量に影響を及ぼす懸案を抱えているのも事実ですので、今後の工事進捗を注視してまいります。

出荷数量が低迷している中、相変わ

らずダミー予定が多くあること、当日キャンセルが多いことで輸送効率が悪化しています。今後の安定供給確保に備えるため予定精度の向上が不可欠です。運行効率の改善に大きく寄与する予定精度の向上のため、登録販売店様及び需要家様には、ご理解・ご協力をお願いいたします。

---市況対策---

生コンクリートの原燃料や産廃処理費などの高騰による大幅なコストアップの直撃を受け、2024年4月より定価22,000円/ m^3 をお願いするとともに、1年間の期間契約による出荷ベースとする新しい販売方式の定着に取り組んでいます。値上げについては、概ねご理解をいただいておりますが新しい販売契約方式については、当協組並びに組合員が持続的な発展をしていくために必須であることから、引き続きご理解を得られるよう説明していきます。

また、2014年に戻りコンの有償化制度を導入し、さらに残コンについても2023年4月より有償化制度を実施し、戻りコン・残コンの削減を目指してきましたが、期待した効果が出なかったことから、本年6月より、残コン有償化ルールを改定しました。今のところ、効果はまだ見られません。戻りコン・残コン削減へのご協力を切にお願いいたします。

	(出荷数量)		(引合、成約、契残)	
	7月(実績)	8月(想定)	7月(実績)	前年比
	前年比	前年実績比		
大型	209,184 m^3 104.8%	180,000 m^3 101.2%	引合 180,502 m^3	166.5%
小型	27,306 m^3 94.4%	20,000 m^3 76.9%	成約 154,599 m^3	177.3%
計	236,490 m^3 103.4%	200,000 m^3 98.1%	契残 3,269,927 m^3	75.1%

新任理事ご挨拶

本宮 秀明



本年5月20日開催の通常総会で理事に就任しました三多摩アサノコンクリート株式会社の本宮秀明です。

この7月に齢60、還暦を迎えましたが、東京生協におきましては超オールドルーキーとなりますので、皆様にご指導戴きたく宜しくお願い申し上げます。

今春に太平洋セメント中国支店から3年ぶりに東京に参りました。これまでの転任先を着任順ではなく北から申しますと、札幌・仙台・東京・横浜・大阪・広島・福岡となります。各々の地区、地域で様々な状況を見てきましたが、やはり東京の物件は規模が格段に違う、ということを改めて実感しているところです。

完成当時は東洋一を誇り私も幼い頃その最上階展望部に登りまして記念メダルを作ってもらった世界貿易センタービルは、もう浜松町にはありません。当時はその高さ163mで超高層と言われましたが、今や何とその倍を遥かに超えるタワーが常盤橋で建設中、という状況であります。超高層ビルだけではありません。各地の再開発物件にも驚かされています。泉岳寺の辺りなど見慣れたはずの景色が思い出せないほどです。

最大需要地東京のこれら大型プロジェクト、その建設に向けた生コンクリート関係で散発した各種問題に、着任早々から直面しております。超高強度、シリカヒュームセメント、骨材、および軽量コンクリート。私にとりましてこれまでに経験したことのない難問ばかりですが、

協組、ゼネコン、流通等の連携から適切に対応されているところとなっております。

現状に目を向けますと、各地域の紛争、地政学的リスク等の世界情勢、国内では円安問題、金利政策、我々の事業に近いところでは24年問題の深刻化、人手不足という労働供給制約、原材料・人件費・運搬費等コスト上昇と事業環境は厳しく、これら各方面への注視、適正な対処が事業継続に必要となっております。

その様な中で組合員として注力すべきことは何かと考えているのですが、それはやはり東京生協が掲げる本年度重点課題になると思います。敢えて記載しますと、①新たな契約方式による適正価格の獲得 ②安定供給の確保 ③戻りコン・残コン、出荷キャンセルの削減 ④完全週休2日制への取組み準備とそれに伴うスライド改定、の4項目です。

地方勤務が長かったので判ることなのですが、全国の生コン協組は東京生協を注視しているということです。現状全国の多くの協組が注目しているのは、上記4課題ですと①の出荷ベース契約であると思われる。新しい契約方式への東京生協の取組みが奏功するよう私も微力ながら尽力したいと思います。

様々な課題、問題に真摯に取り組む東京生協の運営に参画し、精一杯努めていく所存です。皆様のご指導を改めましてお願い申し上げます。

(三多摩アサノコンクリート(株) 代表取締役)

JCI2024松山大会 第31回生コンセミナー参加報告

技術委員会では、6月26日に開催されたコンクリート工学年次大会2024(松山)の第31回生コンセミナー「どうする5308!? これからの行方 一地方から見たJIS A 5308と人材育成」に、技術研修会として一ツ木技術委員長以下31名で参加しました。

生コンセミナーは2部制で開催され、第I部はJIS A 5308の改正と今後の課題、及び、四国支部研究委員会や教育機関の人材育成の事例紹介の講演が行われました。第II部では、地方の生コン工場から見たJIS A 5308について、生産者、発注者、購入者の各立場からの課題や現状について発表と、会場を交えた意見交換を行うパネルディス

カッションが開催されました。

JIS改正と今後の課題では、全生連の原田氏から「コンクリート工の生産性向上について ~生コン情報の電子化等~」と題して、生コン業界の生産性向上への取り組みについて報告がありました。この中には、当協組が協力している国土交通省等の施工工事の概要にも触れられていました。パネルディスカッションでは、地域によって求められるコンクリートが異なるにも関わらず同じ規格(JIS A 5308)・基準で管理されていることと、現在のJIS A 5308で管理できるコンクリートの範囲が広いことを再認識させられました。



2023年度 コンクリート主任技士 合格体験記

毎年この時期に組合員従業員でコンクリート主任技士試験に合格された方々の合格体験記をご紹介します。

2023年度試験における当協組内の合格者は3名で、全員が三多摩アサノコンクリート(株)所属でした。①合格のための苦労談、会社・先輩

のサポートについて ②若い人へ魅力ある職場づくりへの提言 ③今後、どのように資格を生かしたいか、をテーマにコメントをいただきました。

①私は5年ほど前から総務部に所属しているため、記憶容量の少ない頭からコンクリートの知識を抜いて総務の知識を入れて



関口 友己さん

ました。そのためコンクリートの基礎からの再勉強となり苦労しました。弊社のエンジニアスクールにて初歩から学べたことが大きいと考えています。
②総務としてハラスメントへの意識向上やDX化を推進して働きやすい会社にしていきたいです。
③現在は直接コンクリート製造に関わる部署ではありませんが、知識を生かして間接的に品質向上に協力し、会社と業界を盛り上げていきたいです。

①どこでも勉強できるように、テキストや問題集をPDFに変換し、スマートフォンやタブレットに取り込んで学習しました。また、私は漢字が苦手だったため、小論文で使用される漢字をピックアップして自作の漢字ドリルを作成しました。さらに、社内全体が主任技士取得をサポートする雰囲気があったことで、試験日までモチベーションを継続することが出来ました。



高山 聡さん

②若手社員への技術継承がスムーズに行えるように、分かりやすいマニュアルの作成に注力し、気軽に質問できる雰囲気作りを心掛けた上で、信頼関係を構築していきたいです。
③今後も、知識と技術の向上に努めて、地域社会に貢献していきたいです。また、コンクリート業界においても人材不足が問題視されるため、作業省力化と品質確保の両立を目指したいと思います。

①7回目の受験で、念願のコンクリート主任技士に合格することが出来ました。当社のエンジニアリングスクールでの毎月一回の勉強会と、自宅学習の日々は長い道のりでしたが、諦めず挑戦し続けられたのは、様々な方々のサポート、ご指導をいただいたことが私の支えとなり、無事合格することができました。このような環境、機会を頂けたことに感謝しております。



米澤 晃史さん

②若手社員の皆さんにも資格取得を積極的に挑戦できるような環境づくりと、サポートを私自身もできるようにしていきたいと、強く思っています。
③コンクリート主任技士取得がゴールではなく、ここからがスタートという気持ちで、日々の業務に励んでいきたいと思っています。

わが社の安全対策

埼玉エスオーシー株式会社

当社は平成28年4月より生コンクリートの製造を全て委託会社にて行っております。また、従業員も同時に製造委託会社へ出向し業務を遂行しております。

その製造委託会社における令和6年度の社長方針の一つとして「安全管理の徹底」を挙げております。工場内における労働災害には、ミキサー車からの滑落や転倒、ベルトコンベアなどの機械へのはさまれや巻き込まれなど様々です。

①ミキサー車からの滑落や転倒

ミキサー車は生コンクリートを現場に荷下ろしをした後、工場に戻って来てから必ずホッパーやドラム内部を洗浄します。高い位置にあるホッパーやドラムを洗浄するために、ステップを上り作業をする必要があります。ステップは雨などで濡れたりすると滑りやすく足を滑らせて転落する事故が発生する可能性があります。必ず安全带等の防護具をしっかりと身に着けること、ミキサー車の後部は高く狭いので、バランスを崩して転落するなどの危険があることをよく認識し作業するよう注意喚起しております。

②ベルトコンベアなどの機械へのはさまれや巻き込み

点検中、ベルトコンベアが動いているにもかかわらず、挟まれている異物を発見し取り除こうとして巻き込まれてしまう事案があり



ます。安全に作業するためには、ベルトコンベアに触れるときは必ず電源を切り作業を行う。また、動いている機械には絶対に手を出さないなど基本的なルールをしっかりと守り作業を行うよう周知徹底をしています。

③その他

「工場内では足元の段差や滑りやすい箇所などがある」「試験室内では供試体や重い器具など落下する可能性がある」等々、危険は意外にも身近に潜んでいます。職場の安全は、ひとりひとりの意識とルールを守ることが大事ではありますが、万一、安全対策の不備や問題点が出た場合などは話し合いを行い対策をします。

今後も、安全対策を強化し、災害「ゼロ」を目標としていきます。